

各所属における令和7年度の実績、令和8年度の実績計画及び災害時のアレルギー疾患を有する方に対する取組について

NO	所属	令和7年度の実績報告	令和8年度の実績計画	災害時のアレルギー疾患を有する方に対する取組 ※ 取組を実施している場合のみ
1	三重病院	<p>三重県アレルギー疾患医療拠点病院として、様々な事業を実施した。</p> <p>① アレルギー相談センター(電話相談)では、1ヵ月に90-100件、年間で1000件以上の相談に対応した。食物アレルギーに関する相談が多くを占めた。</p> <p>② 三重県のアレルギー疾患対策事業の一環である「三重県アレルギー療養指導スタッフ養成研修」の企画運営を担当、アレルギー疾患に精通したメディカルスタッフを育成に貢献した。</p> <p>③ 県内の病院から原因不明のアナフィラキシー症例(小児～成人)をご紹介いただき、原因精査、原因に基づく生活指導を行った。とくに成人のアナフィラキシー例が増加傾向で、紹介無しの受診も多かった。</p> <p>④ 特殊検査であるフローサイトメトリーを用いた好塩基球活性化試験を常時運用、100種類以上の食物抽出抗原を揃えて特異的IgE検査では診断できない稀少アレルギー診断を実施している。</p> <p>⑤ 厚生労働省より受託した免疫アレルギー疾患患者に係る治療と仕事の両立支援モデル事業(令和5年、6年、7年)では、支援体制のあり方を検討し、患者調査(県内だけでなく全国の患者会に呼びかけた)でニーズを探ると共に、相談窓口を常設、治療と仕事の両立に関する相談に対応した。また、三重県産業保健総合支援センターとの連携体制も構築した。調査で明らかとなったのは、すでに両立支援が制度化されているがんや糖尿病などと異なり、患者は若年層が多い、すなわち、職場では職位が低く、低賃金である者が多いことがこの疾患患者の抱える問題につながっていることが明らかとなった。すなわち、若年であるために要望をどのように伝えるかのすべを理解していないこと、経済的事情のために効果は高いが高額な治療薬の恩恵を受けにくいことなどである。そこで対策の一つとして、AIによる両立支援アプリを作成、困りごとをスマホからいつでも気軽に相談して、個別のニーズに応える体制を整え、令和7年度は啓発用の小冊子を作成した。</p> <p>⑥ 厚生労働科学研究費補助金免疫アレルギー疾患政策研究事業「学校・保育所等におけるアレルギー疾患を有することの安心・安全・生き生きとした活動を保証する生活管理指導表の運用・管理体制向上をめざす研究」(令和5-7年)の成果の一部として、学校生活管理指導表(アレルギー疾患用)を適切な内容で作成するための支援アプリを開発、これに連動したデジタル化生活管理指導表のプロトタイプを作成した。県内の小学校で試用を行い、好評であった。</p>	<p>① 患者相談事業(電話相談)</p> <p>② 三重病院ホームページからの情報発信</p> <p>③ 三重県アレルギー療養指導スタッフ養成講座の企画運営</p> <p>④ 稀少アレルギー診断体制の維持と発展(原因不明アナフィラキシー例の原因診断)。</p> <p>⑤ 免疫アレルギー疾患患者の治療と仕事の両立支援継続</p> <p>⑥ デジタル化生活管理指導表の実用化に向けた活動</p>	<p>・「三重県アレルギー療養指導スタッフ養成研修」で対応周知の予定である。</p> <p>・アレルギーポータルでは「アレルギー疾患の災害対応Q&A集」が公開されており、これをホームページおよび相談センターにおいて、周知を図る。</p> 
2	三重大学医学部 附属病院	<p>・2025年2月に、第42回三重県アレルギー研究会を開催。</p> <p>・2025年2月に、アレルギー週間市民公開講座を開催し、一般市民への啓発活動を行った。</p> <p>・都道府県アレルギー疾患医療拠点病院の活動として、県内関係施設とアレルギー疾患症例検討会を原則1か月に1回実施。</p>	<p>・2026年2月頃に、第42回三重県アレルギー研究会</p> <p>・2026年2月頃に、アレルギー週間市民公開講座</p>	<p>災害拠点病院として、災害対策マニュアルを策定し、アレルギーに関する記述している。</p>

各所属における令和7年度の実績、令和8年度の実績計画及び災害時のアレルギー疾患を有する方に対する取組について

NO	所属	令和7年度の実績報告	令和8年度の実績計画	災害時のアレルギー疾患を有する方に対する取組 ※ 取組を実施している場合のみ
3	三重県医師会	<ul style="list-style-type: none"> ① 本会主催のスタッフ養成講座を後援し、アレルギー疾患に関する情報を県民に啓発した。 ② 県及び市町教育委員会や学校と連携した。また学校現場におけるアレルギー疾患対策を学校医が中心となり啓発推進した。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 医師の生涯教育におけるアレルギー疾患に係る講座を提供する ② 本会主催県民公開講座あるいはスタッフ養成講座等を後援し、アレルギー疾患に関する情報を県民・医療スタッフを対象に啓発する。 ③ 郡市医師会等が主催するアレルギー疾患に関する公開講座等への後援を行う。 ④ 県及び市町教育委員会や学校現場と連携し、学校現場におけるアレルギー疾患対策を学校医が中心となり啓発推進、学校保健・健康教育に引き続き参画する。 	<p>災害対策は各市の事業であるため、県医師会は各々の市町での対応に関しては、把握していません。一部の市では、アレルギー対応食に関しては、アレルギー用のミルク、アルファ米にて対応するとの回答を得ています。中長期的には、個人備蓄或いは国を含めて他地域からの応援に頼らざるを得ない状況です。</p>
4	三重県薬剤師会	<ul style="list-style-type: none"> ① 県教委主催新任養護教諭研修会におけるアレルギー対応研修への講師派遣 ② 県薬主権学校環境衛生講習会におけるアレルギー対応研修の実施 ③ 園学校からの依頼を受けて学校薬剤師によるアレルギー対応研修 	<ul style="list-style-type: none"> ① アレルギー対応研修会講師の派遣 ② 園学校での学校薬剤師によるアレルギー対応研修会の実施 	<p>今後、薬のローリングストックについての啓発を実施予定</p>
5	三重県栄養士会	<ul style="list-style-type: none"> ① 離乳食教室や3歳児健診での食物アレルギー相談や情報提供の実施 ② 病院や福祉の食物アレルギー疾患を有する患者様への個別対応による情報提供 ③ 調理場における食物アレルギー事故防止の取り組みの促進 ④ 三重県栄養士会会員を対象としたアレルギーに関する研修会の開催 →令和7年度定時総会にて三重病院、長尾みづほ先生よりアレルギーに関する最新情報について 	<ul style="list-style-type: none"> ① 離乳食教室や3歳児健診での食物アレルギー相談や情報提供の実施(継続) ② 病院や福祉の食物アレルギー疾患を有する患者様への個別対応による情報提供(継続) ③ 調理場における食物アレルギー事故防止の取り組みの促進(継続) 	<p>「三重県栄養士会 災害時対応マニュアル」にて、食物アレルギーについての聞き取りを記載している。 ・「被災地状況把握シート」、食物アレルギーがある方の有無、その対応状況 ・「被災者健康相談票」、対象者属性、食物アレルギーの方 ・「特別食アセスメントシート<身体状況聞き取り>」、身体状況、食物アレルギー(鶏卵、牛乳、小麦、そば、ピーナッツ、大豆、その他)について</p>
6	三重県病院協会	<ul style="list-style-type: none"> ① アレルギー拠点病院(三重病院・三重大学病院)と各医療機関との連携強化を目的とした標準的治療の普及・推進活動及びネットワーク構築の協力要請に対して協会として支援する。 ② アレルギー専門研修を目的とした研修支援の要請に応じて協力する。 ③ アレルギー疾患のキャリアパスについての説明会・講演会などが開催されれば協力する ④ 小児科標榜の基幹施設でアレルギーエデュケーター(PAE)の育成推進支援の要望があれば協力する。 ⑤ 長期フォロー体制が必要となる疾患であるため、シームレスに治療継続が可能となるよう病診連携体制を充実させ、専門医の治療介入が容易となる環境づくりに協力する。 	<p>引続き令和7年度の協力・支援体制にて取り組みを継続していく。</p>	<p>—</p>

各所属における令和7年度の実績、令和8年度の実績計画及び災害時のアレルギー疾患を有する方に対する取組について

NO	所属	令和7年度の実績報告	令和8年度の実績計画	災害時のアレルギー疾患を有する方に対する取組 ※ 取組を実施している場合のみ
7	三重県看護協会	<p>研修会を実施</p> <p>① 気づく、考える、実践に活かせるフィジカルアセスメント「呼吸」、「循環」 アナフィラキシーショック時の対応について等含む 日時: 令和7年7月24日 10時～15時 参加者: 58名</p> <p>② 気づく、考える、実践に活かせるフィジカルアセスメント「意識障害」、「腹部」 アナフィラキシーショック時の対応について等含む 日時: 令和7年8月8日10時～15時 参加者: 54名</p> <p>③ もう一度基礎からフィジカルアセスメント アナフィラキシーショック時の対応について等含む 日時: 令和7年10月9日9時30分～16時 参加者: 87人</p>	<p>研修会を実施</p> <p>① 気づく、考える、実践に活かせるフィジカルアセスメント「呼吸」、「循環」 アナフィラキシーショック時の対応について等含む 日時: 令和8年7月予定 10時～15時 参加者: 60名予定</p> <p>② 気づく、考える、実践に活かせるフィジカルアセスメント「意識障害」、「腹部」 アナフィラキシーショック時の対応について等含む 日時: 令和8年8月予定10時～15時 参加者: 75名予定</p> <p>③ もう一度基礎からフィジカルアセスメント アナフィラキシーショック時の対応について等含む 日時: 令和8年7月29日9時30分～16時</p>	—
8	三重県歯科医師会	各地域で行う医療管理講習会(3地域)において、アレルギーを含めたアナフィラキシーショックによる患者の急変対応の講演を行った。	現在、検討中	現在、検討中
9	三重県市町保健師協会	協会の内容や、アレルギー疾患に係る手引きや研修会等の案内があった場合に、県内市町にて情報共有	協会の内容や、アレルギー疾患に係る 手引きや研修会等の案内があった場合に、県内市町にて情報共有	—
10	三重県保健所長会	<ul style="list-style-type: none"> 食品表示法に基づく、加工食品に含まれるアレルギー表示についての相談対応、指導(必須表示品目: えび、カニ、小麦、そば、卵、乳、落花生、くるみ) アレルギー物質(乳、たまご、えび、かき)を対象とした除去検査による、適切な食品表示の監視 食品表示講習会の開催(食品衛生協会とともに、食品事業者を対象としたアレルギーを含めた食品についての講習会) 給食施設や飲食店、食品関係事業者等への監視、指導(アレルギーに対応した個別食事提供、食品製造過程でのアレルゲン混入防止など) 「三重県災害時栄養・食生活支援活動ガイドライン」の周知、啓発(アレルギー対応食の備蓄など) 	令和8年度についても、食品監視指導計画に基づき取組を実施するとともに、食品表示法に基づくアレルギー表示の相談対応や啓発についても継続して実施していく。	—

各所属における令和7年度の取組、令和8年度の取組計画及び災害時のアレルギー疾患を有する方に対する取組について

NO	所属	令和7年度の取組報告	令和8年度の取組計画	災害時のアレルギー疾患を有する方に対する取組 ※ 取組を実施している場合のみ
11	三重県教育委員会事務局 保健体育課	<p>学校におけるアレルギー疾患対応の手引《令和2年度改訂》に基づいた対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町健康教育担当者連絡協議会等での手引の活用や事例報告等の情報提供 ・県立学校勤務の養護教諭を対象とした研修会にて、アレルギー疾患の現状と対応に係るデータや参考資料の紹介、および各学校における対応研修実施の促し ・県教育委員会及び県薬剤師会が主催する学校環境衛生講習会において、県内の教職員、市町等教育委員会学校保健担当者及び県薬剤師会会員を対象に、「学校で緊急時に使用する医療用医薬品～アレルギー疾患患者、てんかん及び低血糖への対応～」をテーマとした講演を実施した。 ・学校におけるアレルギー対応に関する調査 ・「学校生活管理指導表」の現状把握 ・アレルギー疾患対応検討委員会(R8.2/6開催予定) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校におけるアレルギー疾患対応の手引《令和2年度改訂》」に基づいた対応 ・市町健康教育担当者連絡協議会等での手引の活用や事例報告等の情報提供 ・県立学校勤務の養護教諭を対象とした研修会にて、アレルギー疾患の現状と対応に係るデータや参考資料の紹介、および各学校における対応研修実施の促し ・学校におけるアレルギー対応に関する調査 ・「学校生活管理指導表」の現状把握 ・アレルギー疾患対応検討委員会 	<p>「学校におけるアレルギー疾患対応の手引《令和2年度改訂》」において、日本小児アレルギー学会から発刊されている「災害時のこどものアレルギー疾患対応パンフレット」などを備蓄食材や防災備蓄など、目につくところに保管し、災害時に誰もが閲覧して注意すべき対応を確認できるように周知している。</p>
12	三重県	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー療養指導スタッフ養成研修会の開催 ・アレルギー相談センター事業の実施(アレルギー相談窓口の設置) ・県ホームページを利用した周知、啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー療養指導スタッフ養成研修会の開催 ・アレルギー相談センター事業の実施(アレルギー相談窓口の設置) ・県ホームページを利用した周知、啓発 ・県主催イベント等での周知、啓発 	<p>災害時のアレルギー疾患を有する方への対応にかかるパンフレット等を周知</p>